ボルネオ島サバ州で採集した蝶類
I. アゲハチョウ科

原 聖樹・岩重 力・伊藤哲夫
神奈川県津久井町中野617 北相寮・東京都板橋区宮本町21・厚木市厚木町1-22

Notes on Butterflies collected in Sabah, Borneo
Part I Papilionidae

SEIKI HARA, CHIKARA IWASHIGE and TETSUO ITO

筆者らおよび熊井喜美雄（神奈川県津久井農林事務所），牛山文雄（同津久井土木事務所）の5名は，ボルネオ昆虫調査団を編成して，1972年12月26日〜73年1月10日，ボルネオ島の北東部（マレーシア連邦サバ州）を訪れた．あいにくと蝶が少ない時期だったが，懸念された雨も少なく，連日フルに活動した結果，多くの蝶を採集することができた．

これらの蝶の調査状況や持ち帰った標本の研究結果については，まとまり次第順次公表してゆく考えであるが，今回はまずアゲハチョウ科について報告する．ここでは採集記録を主体として，それに調査時の諸感や生態上の知見，成虫の発生状況などを加えて報告したい．

本調査行および本文作成については，下記の方々をはじめ多くの方々から有形無形の援助をいただいた．紙上を借りて謝意を表する次第である．牧林功，石川光一，田島茂諸氏，タカオゼミナール，神奈川県蚕業センター，神奈川県津久井保健所．また，学名について教示いただいた白水隆教授にも深謝する．

尚調査地と滞在期日は次のとおりである．Kotakinabalu (Dec. 27, Jan. 8), Tanjongaru (Dec. 28, Jan. 8), Kapayan(Dec. 28), Papar (Dec. 29), Beaufort (Dec. 30—Jan. 1), Pangi (Dec. 31), Tamparuli (Jan. 2. 7), Ranau (Jan. 2—3, 6—7), Poring (Jan. 3—6), Headquarters (Jan. 6—7), Rayoh (Jan. 9), Moyog〜Babagon (Jan. 9).

Papilionidae

1. *Trogonoptera brookiana brookiana* Wallace アカエリトリバネチョウ
   4♂, Headquarters.

2. *Troides amphrysus flavicollis* Druce アンフリサスキシタアゲハ
   1♀, Beaufort.

3. *T. miranda miranda* Butler ミランダキシタアゲハ
   1♀, Beaufort.
   ゴム林内の空地に忽然と現われ，白色ネットめがけてゆるやかに飛んできた．

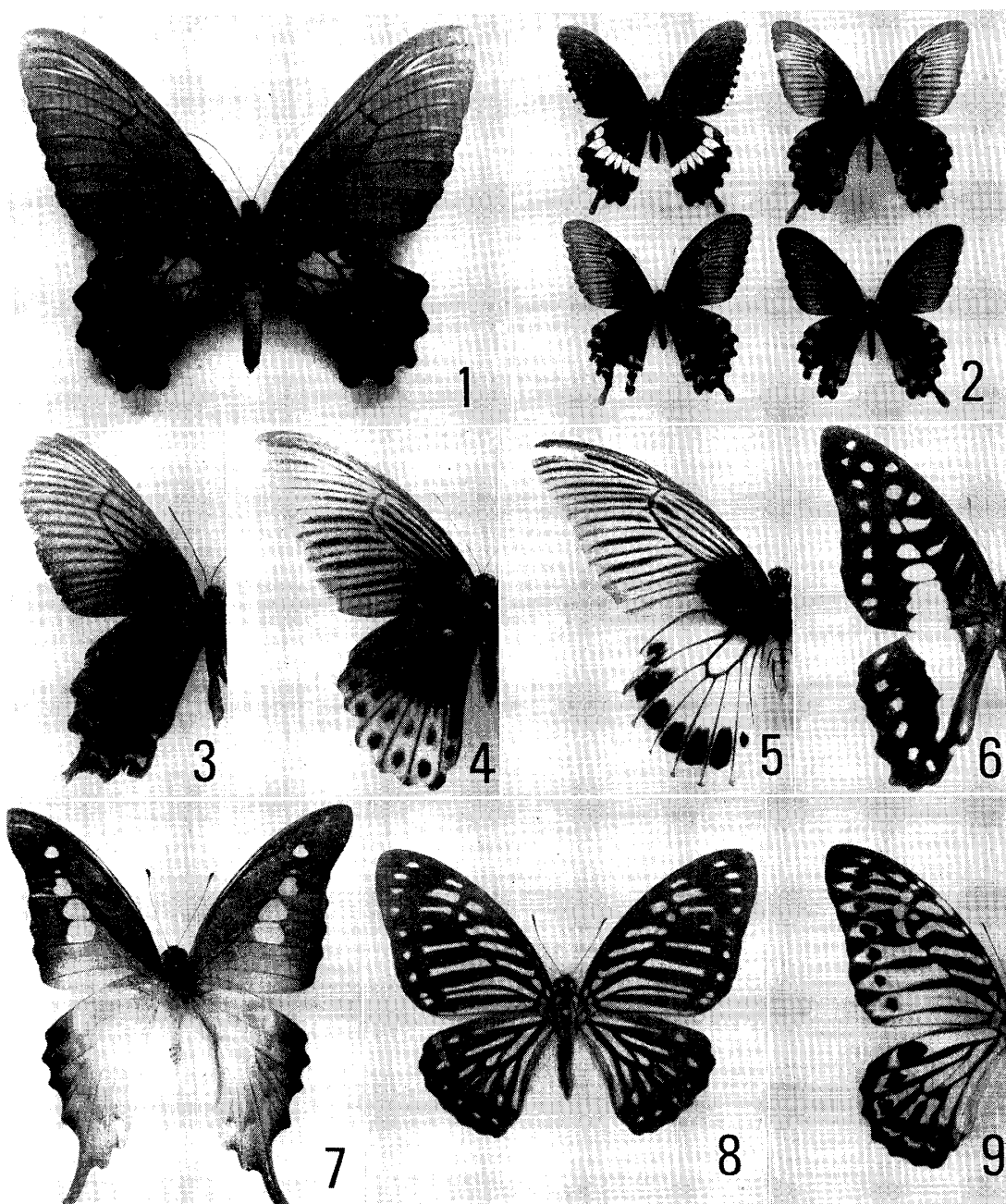
4. *Pachliopta aristolochiae antiphus* Fabricius ベニモンアゲハ
   7♂, 4♀, Ranau, Poring.
   山地にのみ見られた．林縁の陽地をゆるやかに飛んで種々の花に集まり，習性は日本のジャコウアゲハに似ている．新鮮体から汚損体まで鮮度はさまざまな段階のものが見られた．

5. *Papilio demolion demolion* Cramer オビモンアゲハ

3♂., 1♀, Pangi, Poring.

山地にのみ見られた．沢筋の林縁を敏速に飛び，ほとんど止まらない．Poring では林縁に蝶道らしきものが認められた．採集個体の他に，白花で3個体が吸蜜しているのを目撃した (Pangi, Dec. 31. 13 : 10～50)．鮮度はさまざまである．

6. *P. nephelus albolineatus* Forbes タイワンモンキアゲハ

36♂, 12♀, Beaufort, Pangi, Poring, Tanjongaru, Rayoh, Moyog～Babagon.

Figs. 1—9. Papilionidae: (1) *Troides miranda*, ♀; (2) *Papilio polytes*, ♀; (3) *Pachliopta aristolochiae*, ♀; (4—5) *Papilio memnon*, ♀; (6) *Graphium evemon*, ♂; (7) *G. enpedovana*, ♂; (8) *G. macareus*, ♂; (9) *G. delessertii*, ♂.

平地，山地をとおして林縁における普通種である．意外にも飛翔はかんまんで，黄白紋が目立って美しい．ほとんど休止しないが，♀は林縁の白花で吸蜜することもある．蝶道らしきものを形成して飛ぶが，吸水の習性はないらしい．鮮度はさまざまで，発生の盛期に当っていた．

7. *P. helenus enganius* Doherty モンキアゲハ

6♂, 1♀ Poring, Moyog～Babagon.

山地の沢筋にのみ見られ，習性は日本のものと変りなく，白花で吸蜜する1♀1♂もあったが，吸水個体は見なかった．新鮮体が大部分である．

8. *P. memnon memnon* Linnaeus ナガサキアゲハ

18♂, 2♀, Beaufort, Pangi, Ranau, Poring, Moyog～Babagon.

平地，山地ともに見られたが，とくに平地で見られたアゲハ中最も普通なものだった．山間の沢など人為のうすい環境にも姿を現わすが，そこでは個体数が激減する．午前中から午後3時頃まで活動し，花に訪れる個体を見ることは少なく，飛翔中のものに出会う機会が多かった．食樹と思われるミカン科のまわりを，羽化直後の♀を探すように飛びつづける1♂も目撃している（Ranau, Jan. 2. 14：20）．アオスジアゲハ，シジミチョウの一種，キチョウの一種が吸水している上を通っても無関心で，吸水に降りることはなかった（Poring, Jan. 3～5）．また，ゴム林内で蝶道を形成して通過してゆく♂数頭および2♀も目撃した（Beaufort, Dec. 30. 13：50）．平地，山地とも♂は新鮮なものから汚損したものまでさまざまであるが，どういうわけか♀はまれで，上記の他に Ranau で1♀，Rayoh で1♀が飛ぶのを確認しただけである．

9. *P. polytes theseus* Cramer シロオビアゲハ

24♂, 13♀, Tanjongaru, Papar, Pangi, Beaufort, Ranau, Poring.

平地，山地ともに見られるが，部落の周辺に多く，人為が加わらない環境には少ない．低所を比較的速く飛んで♀♂とも花に集まるが，吸水個体は見ていない．♂は飛翔中でも後翅の白帯がよく目立ち，驚かすと一目散に飛んでジャングル内に逃げこんでしまう．飛翔中の♀は一見したところ日本のジャコウアゲハに似ており，ミカン科の葉裏に産卵中の1♀を確認した（Ranau, Jan. 2. 14：00）．大部分が汚損体で新鮮体は少ない．他の種についても同様にいえることであるが，平地から山地にかけて1,000 m 前後の標高差があるにもかかわらず，両地間における成虫の鮮度を比較して考えてみても，その差が判然としない．発生期は気温などにあまり影響されずに，始終ダラダラと羽化してくるような印象をうけた．

10. *P. palinurus palinurus* Fabricius オビクジャクアゲハ

4♂, 3♀, Pangi, Ranau, Poring.

上記した山間の沢で各数頭を目撃した．敏速に飛びなかなか止まらないが，時折白花に来たり，食樹と思われるサンショウ類のまわりを比較的ゆるやかに飛ぶこともある．湿地に降りようとした1♂もあった（Pangi, Dec. 31. 11：00）．また，Poring では一カ所蝶道らしきものを認めた．汚損したものもあるが，新鮮体が大部分である．

11. *Graphium empedovana* Corbet エンペドバナタイマイ

1♂, Rayoh.

沢岸の高所を敏速に飛んできて，河原の湿地に吸水に降下した1♂を採集しただけである．

12. *G. sarpedon sarpedon* Linnaeus アオスジアゲハ

21♂, 3♀, Ranau, Poring, Rayoh.

山地にのみ見られた．敏速に飛んで時折花を訪れる．群をなして吸水中の♂はネットをかぶせても平気で，翅を振動させながら吸水を続行する．新鮮なものが多く，習性は日本のものと同様である．

13. *G. doson evemonides* Honrath ミカドアゲハ

2♂, 3♀, Pangi, Poring, Rayoh.

14. *G. evemon orthia* Fruhstorfer エベモンタイマイ
 2♂, Rayoh, Moyog～Babagon.

15. *G. bathycles bathycloides* Honrath バチクルスタイマイ
 6♂, Poring, Rayoh, Moyog～Babagon.
 新鮮な♂のみで，1月上旬は発生の初期に当るらしい.

16. *G. agamemnon agamemnon* Linnaeus コモンタイマイ
 11♂, 2♀, Beaufort, Poring, Rayoh.

17. *G. macareus macaristus* Grose-Smith マダラタイマイ
 1♂, Rayoh.
 沢岸砂地の数平方米四方に各10数頭の吸水集団が3群あり，その構成種はアオスジアゲハが大部分であるが，その中に本種1♂（新鮮），コモンタイマイ2♂，ウスアオマダラタイマイ1♂，シロチョウ科の2種などが見られた（Jan. 9. 14：00).

18. *G. delessertii delessertii* Guérin ウスアオマダラタイマイ
 1♂, Rayoh.
 先述した吸水集団の中に1♂が見られた．吸水時には翅を閉じてじっとしており，他の *Graphium* のようにはばたくことはない．飛翔もマダラチョウそのもので，採集後はじめてアゲハであることがわかった (Jan. 9. 14：00).

19. *Lamproptera curius curius* Fabricius シロスソビキアゲハ
 3♂, Poring.

20. *L. meges meges* Zinken-Sommer アオスソビキアゲハ
 7♂, 2♀, Poring.
 前種 *curius* とともに Poring の森林地帯にのみ見られた．ハチやトンボを連想させる独特の飛び方で，河床の湿地や山道上に吸水に現われる．驚くと，ジャングル内へ逃げこんだり，陽だまりの緑葉上に翅をべったりと全開して休止したり，あるいは一目散に飛んでたちまち視界外へ消えてしまうこともある．吸水時には *Graphium* と同様のポーズで，翅を振動させながら落着かない．採集時には *curius* との区別ができず，帰国後に両種を判別したため，習性はほぼ同様のようではあるが，両種間におけるその相違を明らかにできなかった．新鮮およびそれに近い個体が大部分で，1月上旬は発生初期に当るようだった．

参 考 文 献

Corbet, A.S. & Pendlebury, H.M. (1947) *The butterflies of the Malay Peninsula*. Second Edition. Oliver & Boyd, Edinburgh.
Hayashi, H. (1968) A list of Bornean butterflies, chiefly taken in Sarawak. *Tyo to Ga* 19: 70—84.
林 寿一・岩永晶一 (1972) ボルネオの蝶（続）. 昆虫と自然 7 (11)：19-20.
五十嵐 邁 (1969) ミミクリーの実例. やどりが58/59：8-17.
森下和彦 (1969) マレイ諸島の蝶（1）. やどりが 60：7-17.
中原和郎・黒沢良彦 (1962) 原色図鑑世界の蝶. 北隆館，東京.
Seitz, A. (1927) *Macrolepidoptera of the World* 9. Alfred Kernen Verlag, Stuttgart.
白水 隆 (1955) 蝶類雑記（4）. 新昆虫 8（5）：38-44.
——— (1960) 原色台湾蝶類大図鑑. 保育社，大阪.